

2018/03/25 アイアンマン 70.3 ダバオ 参戦記

松田 知之

3.25 にフィリピンミンダオ島のダバオで初めて開催されたアイアンマン 70.3 に行っていました。

フィリピンではセブヤスービックといったところで開催されてきた 70.3 をたびたび楽



しんで来ました。これまで SUNRISE が非常に良くオルガナイズした良い大会をしているのでワクワクの大会でした。関西からだとならダバオまでは直行便がないのでマニラ経由で行くのがほぼルーチンと化しているのも移動距離、時間がバカになりません。飛行機に都合 6 時間しか乗ってないのにトランジットで 8 時間合計 12, 3 時間なものでなかなか大変です。

また今年の 3 月末の日本は寒暖の差が激しく桜が咲いた翌日にはまた積雪がみられるという状況で最高気温 7 度の国から外気 32 度の国でのレー



スは真冬のトレーニングもサボりがちな身にはしばきに近い辛さがありました。

今回は AWA シルバーで参加できる（3 年前もシルバーだったのに翌年は 1 度もレースに出ずじまい）のでちょっとブルジョワチックな気分になりたくて、どうしてもレースに行きたかったのです。

木曜日にダバオ入りして金曜日にレジストレーションをすませ、今回のレース参

戦以外のビックな目標である英語教師のところにお邪魔してローカルディナーまでご招待いただくこととなりました。

私のネット英語の先生である彼（Joseph）は生粋のダバオ人で英語ばかりでなくミンダナオのこともいろいろ教えていただきました。ホテルまでわざわざ知人に車を借りて奥さんと迎えに来ていただき、帰りにウェットマーケット（日本の公設市場みたいな）で食材を途中仕入れてそのままご自宅まで。



奥さんが料理をしている間に私は彼が囑託で営業しているトライシクルに乗せてもらってあちこち散歩。とっても親切に客人として、友人として歓待していただき感謝感激です。

大統領がかの厳しいことで有名なドゥテルテになってからフィリピンは少しずつですが良い方向に進んでいってることを肌で感じます。大統領の命令一下で国中のストリートでの禁煙が施行され、警官の汚職も麻薬犯罪も劇的に減少したとのこと。

さて肝心のレースですがこれは想像どおりでまあ暑いなのなんの朝 6:30 からのスイムローリングスタートですが、すでに水くれ状態で出発です。海はなかなか綺麗で去年末に参加したアモイの視界 0 c m とは比べようがない美しさです（ちなみにダバオ近郊には白砂のビーチはないので対岸の島に渡るか遠方までいかねばなりません）。

サンゴや熱帯魚を眼下に泳ぎきった後は炎天下のバイクが待っておりました。昨年後半からなんかバイクの結果が悪くてどフラットのアモイでもアベレージで 31km/h でしか走行できず、きっと今回もあかんやろなとちんたら走り出して、でも折り返しからはもう足が売り切れてもいいわと割り切ったらまあ少々アップダウンあり、がたがた道だらけで 32km/h だったのでよしとします。とにかく高速道路

でありながら路面の悪さはピカーでした。

ランパートは2周回の少しアップダウンあるコースです。でも応援の観衆は途切れることなくやっぱりこいつらラテン系やなあ、と日頃の仕事でのストレスも全く忘れることができるとっても幸せなランニングです。

暑くとも1km毎にエイドがあるので助かりました。エイドで氷、スポーツドリンク、スイカを順番にとって行くのをルーチンにして炎天下歩くことなく2:11でハーフフィニッシュ。結局今年初のフィリピンの結果は5:56:33でエイジ80人中の10位ではなかなかスロットも夢のまた夢ですが、また次のセブにエントリーしてますし頑張ります。

追記。帰りにダバオ空港から帰途につくためチェックインしたら、フィリピン航空のおねえさんが「あんたの飛行機、マニラから関空は今日飛ばないよ」とのたまわれるではないですか。???なんのこちゃと思ってよく聞いても理由はよく説明してもらえず、とりあえず今日はマニラまで行って。そしたらホテル用意してやるから夜中3時発の飛行機に乗りな、そしたら明日の朝つくから。って俺明日から仕事いれてんだけどようと、思いながらもまあ、神様がくれたバケイションと割り切ってもう1日のマニラ滞在を楽しんで真夜中に帰途についたのでした。めでたしめでたし。